

交流を深め合いました
平成23年度
美郷町小学校陸上交流会

5月19日に美郷町陸上競技場で小学校陸上交流会が行われ、町内6小学校の4年生以上の児童たちが100m走や走り幅跳び、ソフトボール投げなどに挑戦しました。交流会は自分の記録に挑むとともに、児童たちが交流を深めることを目的に、順位を付けない記録会形式で行われました。開会式で籠谷杏奈さん（六郷小学校6年）は「ともに励まし合いながら交流を深め、自己ベストを目指して競技することを誓います」と元気に選手宣誓を行いました。

今年の交流会は好天に恵まれ、競技場にはたくさんの保護者の皆さんが応援に駆けつけていました。



仙南東小学校



千屋小学校

町の話題

親子一緒に楽しみました
町内小学校で運動会

4月29日から30日にかけて町内の小学校で運動会が開催され、各校とも趣向を凝らした競技や応援が繰り広げられました。

あいにくの天候のため多くの小学校が体育館内での開催でしたが、ユニークな競技や思わぬハプニングに笑顔のたえないひと時となりました。



交通事故ゼロを目指して
春の全国交通安全運動

5月11日から20日までの10日間、春の交通安全運動が全国一斉に実施されました。期間初日の11日には大仙警察署美郷交番敷地内で美郷地区交通安全協会祈願祭が行われ、交通安全協会や警察署員、町職員ら約40名が出席し交通安全祈願塔に礼拝して今年1年の交通安全を祈りました。戸沢信一交通安全協会会長はあいさつの中で「昨年は飲酒運転が多く、反省しなければならない年だった。今年は酒酔い運転、事故ともに0件を達成したい」と抱負を述べました。

監督・コーチ・家族に ありがとう
平成23年度 美郷町スポーツ少年団結団式



5月14日に総合体育館リリオスで美郷町スポーツ少年団結団式が行われ、23単位団が参加しました。式では美郷相撲スポーツ少年団の久米伊織さん（仙南東小6年）が団員を代表して誓いのことばを述べ、今年3月に発生した東日本大震災の被災地の子どもたちがスポーツができない状況であることに触れて、「ぼくたちは監督・コーチ・家族に支えられスポーツをすることができています。感謝しています。ありがとうございます。精一杯がんばります」と、今年度の活動に一生懸命臨むことを誓いました。



お稚児さん 着物姿で練り歩き
六郷仏教会の花まつり

5月15日に六郷仏教会主催の花まつりが行われ、色鮮やかな衣装に身を包んだ43名の子どもたちが市場通り商店街などを練り歩きました。花まつりは、お釈迦様の生誕を祝う行事で、六郷仏教会の花まつりは50年以上の歴史があります。沿道にはたくさんのお見物客が出迎え、かわいらしい子どもたちの姿に笑顔で手を振っていました。

この後、広照寺では灌仏会法要が執り行われ、お釈迦様が誕生した際に天から甘露が降り注いだという言い伝えをもとに、子どもたちが一人ひとりお釈迦様の立像に甘茶をかけました。

美郷町に避難している子どもたちに
JA秋田おばこ女性部が図書カードを寄贈

このたび、JA秋田おばこ女性部（佐々木フミ子会長）から、東日本大震災のため美郷町に避難している子どもたちに図書カードが寄贈されました。

5月20日に役場庁舎を訪れたJA秋田おばこ女性部の皆さんは、後松教育長に図書カードと子どもたちに向けたメッセージ文を手渡しました。後松教育長は「子どもたちも大変喜ぶと思います。ありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。いただいた図書カードとメッセージ文は後日、子どもたちに届けられました。



「料理の神髄」

美郷町長 松田知己



町議会臨時会で行政報告を述べる松田町長

「目に青葉 山に山菜 海に鱈」。こんな時期になりました。かつて山菜採り（採りとは言えないレベル）や海釣りに出かけていた私には、もどかしい時期でもあります。行けないもどかしさを紛らわせるには、いち早く食べることに尽きるわけですが、なかなか自分で買に行けないのも現実。そこで登場するのが家族となるわけですが、先日、家人が道の

駅から初物のアイコを買ってきました。また、自分の家の林からも初物のミズを採ってきました。そこで、「さてどうやって食べましょうか」となるわけですが、アイコはおひたしと味噌漬けに、ミズは浅漬けとたたき、油炒めで食べました。「いやいやっぱりうまい。満足満足」でしたが、山菜を美味しく食べるのに「いろんな調理法があるもんだな」と改めて思った次第です。私は包丁を握りませんが、理想の世界ですが、食材の調理法はきつと料理人のアイデア次第で限りなくあります。だから料理はおもしろいと思うのですが、共通しているのはいかに食材を活かし、いかに美味しく食べさせるかの工夫だろうと思います。それを料理の真

髓とするならば、そのことはきつと、さまざまな事柄に当てはまります。町では先月、秋田大学との連携協定を結びました。そのテーマは美郷の「水」です。これまで町としていくつかの取り組みを重ねてきましたが、改めて大学の専門性を注入してもらい、いかに「水」を町づくりに活かしていくか検討していきたいと考えております。言わば「水」の料理法の開発です。具体的には、教育文化学部とは主に芸術文化的なこと、工学資源学部とは主に科学的なこと、医学部とは主に健康づくり的なことを深めていきたい意向ですが、みなさんもアイデアをください。美郷の「水」について、冒険的な捉え方や取り組みも考えてみたいと思います。そんな「水」の全国サミット、7月1日に町公民館で開催します。他の市町村ではどう料理（活用）しているか興味ありませんか？皆さんのご参加、お待ちしております。